



1.シンプルで過ごしやすい雰囲気の待合室。2.患者さんの大切な卵や精子を扱う培養室には約10人の培養士が在籍。3.体外受精の際に利用するリカバリールーム。4.患者さんに寄り添うカウンセリング

## CLINIC DATA

### 神戸ARTクリニック

兵庫県神戸市中央区雲井通7-1-1 ミント神戸15階  
078-261-3500  
各線「三宮駅」よりすぐ  
平日9:00～13:00、17:00～19:00  
土・日9:00～13:00  
(祝日は予約のみ)  
なし



### Message

時間を無題にしないことが大切  
効率よく治療を進める  
工夫をしましょう

検査をしても特に不妊原因が見つからないという場合は、早めのステップアップを。タイミング法だけを続けていても、むだに時間を過ごしてしまう場合もあります。32歳くらいからは「ある程度」急いで、35歳を過ぎたら「かなり」急いで、40歳を過ぎたら「非常に」急いでください。40歳を過ぎると急速に流産率があがり、染色体異常のない受精卵は減ってきます。時間をむだにせず、効率よく治療をすすめていきましょう。

**診察予約・受付システムはインターネット診察予約が可能。**

初診以外はインターネットで予約ができます。また、患者様用のアプリをご登録いただくと受診当日のお支払いを院内の会計を待つことなくオンラインにて決済いただくこともできます。定期的にオンラインでのセミナーも開催しております。遠方のかたや、仕事との両立で来院の難しい方も参加が可能です。わからないことや気になることは医師に質問をすることもできるのでご好評をいただいているます。

### 通いやすいポイント

- 01 平日は夜19時まで、土日午前中も診療
- 02 効率よく治療を進める工夫
- 03 駅近でアクセス抜群！
- 04 インターネット予約可能

## 高い技術の着床前遺伝学的検査を提供。

平日19時まで、土日も診療。働きながらの妊活をサポートします。

神戸、三ノ宮駅の目の前の複合ビル・ミント神戸内にある、神戸ARTクリニック。駅からアクセスも良く、17時～19時の診察もあるため、仕事帰りの通院も可能なクリニックです。当クリニックでは2004年から、胚の染色体異常を検査する着床前遺伝学的検査(PGT-A・PGT-SR)を実施するなど、幅広い検査と治療を行っています。

特に2004年から行っているPGTは、当時は国内で実施している医療機関は他になく、日本全国から治療を求める患者様に対して、平時にPGTを行ってきました。月日の流れとともに国内の規制緩和も進み、2022年からは生殖補助医療を提供する全国の医療機関でPGTを行うことが可能となりました。そのような背景から、独自の啓蒙活動は一定の役割を終えたと認識し、今年より日本産科婦人科学会が認める「PGT-A・SR承認実施施設」となり、PGTを患者様に提供しています。

理事長の大谷先生はご自身も不妊治療の経験があり、「なかなか赤ちゃんを授かることができない気持ちはよく分かります」と語ります。

神戸、三ノ宮駅の目の前の複合ビル・ミント神戸内にある、神戸ARTクリニック。駅からアクセスも良く、17時～19時の診察もあるため、仕事帰りの通院も可能なクリニックです。当クリニックでは2004年から、胚の染色体異常を検査する着床前遺伝学的検査(PGT-A・PGT-SR)を実施するなど、幅広い検査と治療を行っています。

特に2004年から行っているPGTは、当時は国内で実施している医療機関は他になく、日本全国から治療を求める患者様に対して、平時にPGTを行ってきました。月日の流れとともに国内の規制緩和も進み、2022年からは生殖補助医療を提供する全国の医療機関でPGTを行うことが可能となりました。そのような背景から、独自の啓蒙活動は一定の役割を終えたと認識し、今年より日本産科婦人科学会が認める「PGT-A・SR承認実施施設」となり、PGTを患者様に提供しています。

理事長の大谷先生はご自身も不妊治療の経験があり、「なかなか赤ちゃんを授かることができない気持ちはよく分かります」と語ります。

平日は夜19時までの診察で仕事帰りの通院にも便利。駅近くでアクセス抜群！

働く女性に  
やさしい  
クリニック

## 神戸ARTクリニック

兵庫県

Doctor Profile



理事長  
**大谷 徹郎先生**

1979年神戸大学医学部卒業。ワシントン大学医学部、ドイツ・キール大学医学部留学などを経て、1996年神戸大学医学部附属病院助教授。2000年より大谷産婦人科不妊センター院長。2011年神戸ARTクリニック開設。

患者様一人ひとりに合わせた  
テラーメイドな治療を  
提供しています

当クリニックの不妊治療では、特にART治療に高い技術をもつており体外受精や顕微授精などは最新の設備で熟練のスタッフが行っています。また、カウンセリングには特に力を入れて取り組んでおり、患者様に生殖補助医療について深く理解していただきよう努め、看護師による体外受精カウンセリングでは、患者様のお話しを丁寧にお伺いしできる限りのケアをさせていただきます。

生殖補助医療がすすんできて、誰でも気軽に不妊治療を受けられるようになりました。「妊娠しないな」と感じたら、できるだけ早めに専門医を受診してください。

40代で治療を始める場合は、卵子を元気にするためにDHEAというサブリメントをおすすめする場合もあります。残念ながら市販はされておらず、日本では医薬品となります。

また最近では、「PFC-FD療法」を始めました。PFC-FDとは、ご自身の血液から「成長因子」のみを抽出・濃縮し凍結乾燥させたもので、体内の組織修復、治癒などを促す因子が濃縮されたものです。これを子宮腔内に注入す



診察するフロアとは別のフロアにキッズルームがあり、子連れのかたでも気兼ねなく受診できます。